

「ごんぎつね」教科書掲載60周年記念特別展

# 教科書で出会った ごん

## ～南吉作品教材化の歴史～

2016年

7月16日(土)～10月23日(日)

■開館時間……9時30分～17時30分

■休館日……7/19(火)・25(月)、8/1(月)・8(日)・9(火)・22(月)・29(月)、  
9/5(月)・12(日)・13(火)、10/3(月)・11(火)・12(水)・17(日)

■観覧料……高校生以上210円(団体20名以上170円)  
※常設展もご覧いただけます

**ミュージアムトーク**

学芸員が特別展の解説をします

7/16(土)・31(日)  
8/13(土)・28(日)  
9/22(火)・25(日)  
10/1(土)・4(日)  
13時30分～14時

特別展会場にお集まり下さい。

**新美南吉生誕祭**

7月30日(土)  
南吉さんの日式典、  
正八ちゃんの宵祭り

7月31日(日)  
あつまろう  
みんなの南吉まつり

※両日は入館無料

**ごんの秋まつり**

9月17日(土)～10月2日(日)  
矢勝川堤に咲く  
300万本の彼岸花と各種行事

・実際の開花とイベント期間がずれることもあります。  
・イベントや駐車場規制についてはホームページをご覧ください。

矢勝川堤の  
彼岸花  
(9月下旬～10月上旬)



**夏休み! 親子「ごんぎつね」教室**

8月11日(日)  
9時～15時30分

要予約

**「ごんぎつね」の立版古をつくらう**

8月15日(日)、10月8日(日)  
10時～13時30分

要予約

※詳しくは裏面をご覧ください

新美南吉記念館

〒475-0966 愛知県半田市岩滑西町1-10-1 TEL (0569)26-4888 FAX (0569)26-4889  
【交通】名鉄河和線 / 半田口駅より西へ徒歩20分 知多半島道路 / 半田中央ICより東へ5分

写真 豊橋市神田ふれあいセンター (旧設楽町立神田小学校)

「ごんぎつね」教科書掲載60周年記念特別展

# 教科書で出会った ごん

## ～南吉作品教材化の歴史～

2016年

7月16日(土)  
～10月23日(日)

今年は1956年(昭和31)に初めて「ごんぎつね」が教科書に掲載されてから60年になります。つまり、教科書の「ごん」も今年で還暦を迎えました。初めは1社から始まった「ごんぎつね」も1980年(昭和55)には全社採用となり、以降、一度も途切れることなくすべての小学4年生用国語教科書に載っています。これまでに「ごんぎつね」を教科書で読んだ人口は6000万人を超えます。「手ぶくろを買いに」もまた、長年の間、数多くの教科書に掲載されてきました。

こうしたことから、新美南吉といえば、「教科書の童話を書いた作家」という印象をお持ちの方も多いでしょう。国民童話といえるほど圧倒的多数に読まれている「ごんぎつね」とそれに次ぐ「手ぶくろを買いに」ですが、教科書界における南吉の存在が定着するまでには紆余曲折がありました。過去には教科書に掲載されながら、現在は載っていない南吉作品も数多くあります。

どうして、「ごんぎつね」と「手ぶくろを買いに」は生き残ったのでしょうか？ 教育内容が多様化する現代において国語科で文学教材を扱う意味はどこにあるのでしょうか？ 南吉作品と教科書をめぐる歴史から考えてみたいと思います。

- 〈導入〉 市内小学生26人による「ごんぎつね」音読リレー  
かすや昌宏氏「ごんぎつね」光彩画12点・メッセージ
- 第一章 教科書の歴史
- 第二章 「ごんぎつね」国民教材への道
- 第三章 「ごんぎつね」人気の秘密  
黒井健氏「ごんぎつね」挿絵ジークレー版画1点・メッセージ  
長野ヒデ子氏「ごんぎつね」挿絵原画2点・メッセージ
- 第四章 一度は消えた「手ぶくろを買いに」  
池田あきこ氏「手ぶくろを買いに」挿絵原画8点・メッセージ
- 〈章外〉 まだまだ載っていた南吉作品
- 第五章 文学教材に求められるもの

### 〈会期中の行事〉

#### 夏休み! 親子「ごんぎつね」教室

8月11日(祝・木) 9時～15時30分  
お父さんお母さんも習った「ごんぎつね」。  
人気の秘密を探って、君も「ごんぎつね」博士になろう!  
対象 3年生以上の小学生と保護者  
定員 30名  
内容 「ごんぎつね」の舞台を訪ねよう(バス利用)  
特別展見学(学芸員の解説付き)  
南吉と「ごんぎつね」についてのお話  
はりきり綱や火縄銃を触ってみよう

持ち物 筆記用具、弁当、水筒、カメラ(いろいろ撮って自由研究に使う)  
参加費 300円(保護者は別途観覧料210円)  
申込み 7月17日(日)9時30分から電話または窓口へ

自由研究にもOK!



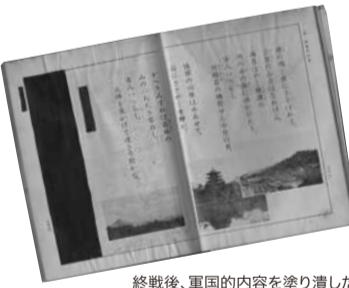
「手ぶくろを買いに」挿絵  
東京書籍の教科書より  
(1989年・絵/池田あきこ)



「ごんぎつね」挿絵・光村図書教科書より  
(1986年・絵/かすや昌宏)



「ごんぎつね」を書いた頃の新美南吉(1931年)  
サインの「新美正八」は本名



終戦後、軍国的内容を塗り潰した  
第5期国定教科書



光村図書が初めて  
「ごんぎつね」を採用した教科書  
(1971年・絵/かすや昌宏)



絵本「ごんぎつね」挿絵(光彩画)  
(あすなろ書房・1998年・絵/かすや昌宏)

#### 「ごんぎつね」の立版古を作ろう

①8月15日(月) ②10月8日(土)  
10時～13時30分(90～120分程度)  
江戸時代からある紙のジオラマ「立版古」で、  
「ごんぎつね」の世界を作ります。  
対象 小学生以上  
定員 各回10名  
持ち物 30cm程度の定規、ハサミ、カッター  
参加費 300円  
申込み ①は7月18日(祝・月)、②は8月6日(土)  
9時30分から電話または窓口へ  
※静岡市美術館かすや昌宏氏の原画を元に  
企画制作したキットを使用します。



いろんな種類から選べるよ

## 新美南吉記念館

TEL0569-26-4888

詳しくはホームページでご確認ください。

新美南吉記念館 検索

